

2025年度（令和7年度）
学校関係者評価報告書



2026年1月

学校法人帯広コア学園

帯広コア専門学校

2025年度 学校関係者評価報告書

1. 学校関係者評価委員会

- ・開催日時 2026年1月20日(火) 16:30～17:30
- ・開催場所 帯広コア専門学校 13教室

学校関係者評価委員（敬称略）

氏名	所属	属性
奥野 淳一	帯広北高等学校	高校
佐藤 寛之	帯広商工会議所	団体
福田 英基	帯広電子株式会社	企業
漆原 成人	個人事業主	卒業生

事務局

千葉 直樹	理事長兼校長
畠山 晴美	副校長兼介護福祉科主任
村川 貴康	情報系学科主任
野尻 志保	医療ビジネス科主任
中原 奈緒美	歯科衛生士科職員
藤田 薫	事務長

2. 評価対象期間

自:2024年4月1日
至:2025年3月31日

3. 実施方法、配布資料、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員の皆様には「学校自己評価」の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見をいただきました。いただいたご意見は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育の質向上に努めることとし、ホームページ等に公表致します。

(資料)

- ・2024年度 事業報告資料
- ・帯広コア専門学校 自己評価報告書
- ・学校パンフレット一式

4. 評価基準毎の学校関係者評価

- ・概ね昨年度より向上している。
- ・全員から基準1から基準10まで適切であると評価を受けている。

5. 意見等

- ・AIを使いこなすことが学校の課題の1つではないか。
- ・SNSの発信を学生にやってもらうのはどうか。
- ・ボランティア活動が現在の仕事に繋がっている部分もあるので、ボランティア活動に携わってほしい。学生に向かって伝える機会も欲しい。
- ・システム内製化のため厚労省の75%補助の事業を使ったが、融通が利かず大変だった。
- ・内製化のためには、最初に内部での体制整備も必要と感じた。
- ・北高の今年度卒業生は理美容系への進学が多い。帯広だけでなく、札幌に行く子も多い。
- ・北高の進学先の最近の傾向としては、情報系が減り、医療と公務員が増えている。
- ・北高は日本航空大学校、吉田学園と連携協定を結んでいる。
日本航空大学校とは授業で連携、吉田学園は入学金で優遇がある。
ぜひ、授業などで連携したい。手始めに今年度は実現できなかった十勝学で北高1年生との合同授業を実現させたい。

6. 学校の見解

- ・十勝唯一の総合高等教育機関として地域社会の変化そして将来を見つめ、常に”学校の価値”を考え、教育の変革を模索しています。外国人材活躍のための日本語学校との連携をはじめ、地域の企業・団体と連携して外国人との共生環境の構築に向けた教育サービスにチャレンジし、地域の経済維持&発展に繋げていきます。
- ・教育活動としては、学科ごとの目的、使命を再認識し、それぞれの到達レベルに向けた指導方法と体制をさらに強化しています。
- ・教育成果の向上のため、求職情報の共有による就職率の向上、取得資格の見直し、在学中の表彰制度の強化などに力を入れていきます。